

上京中だより

京都市立上京中学校

校長 近藤 博史

令和3年3月12日

3月号②

校訓 人・もの・ときを大切に

学校教育目標 「自立・貢献・夢づくり」

豊かな心とたくましく生きる力を備え、社会に貢献する

夢や希望をもって、未来を切り拓く生徒の育成



3月の言葉

「3月は1年間のまとめの時期

次年度に繋げるために 悔いのない締めくくりを！」

プラス

「巣立ちゆく3年生の皆さん!! 晴れやかに、胸を張り、堂々と！」

「信じた道を一生懸命!!

どの道を選ぶかより、自分の選んだ道をどう生きるかが大切！」

3月1日には“春一番”の風が吹き、校内では梅の木の開花とともに、桜の枝には春の到来を感じさせるたくさんの蕾(つぼみ)が見られるようになりました。昨年の4月に434名の生徒でスタートした今年度も、来週15日には卒業式を、そして19日には修了式を迎え、いよいよ今年度も終わりとなります。

先日10日には、9年間の義務教育を終えようとしている3年生のために、1・2年生が心を込めて「3年生を送る会」を開いてくれました。3年生は体育館・グラウンドと場所を移動しながら、1・2年生は教室・グラウンドを移動し、別々の場所で送る会のプログラムは進みましたが、事前に収録した映像を使い、全学年が同じ時間に同じ内容を共有できるようにと工夫をしてくれました。本当に心温まる素敵な会でした。

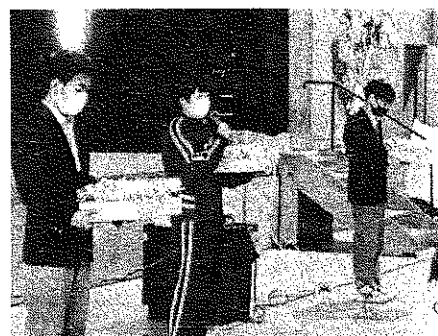
送る会のオープニングの中で中央委員から披露(ひろう)のあった「卒業おめでとう!!」と書かれた横断幕。中央委員の呼びかけで始まり、放課後、1・2年生の有志が協力し、横断幕に気持ちのこもったメッセージが書き加えられました。

そして1年生からは、心のこもった手づくりのコサージュが3年生に贈られました。このコサージュを着けて3年生は卒業式に出席することになります。コサージュが15日の式本番にひと花添える形となり、門出となる3年生の胸で“キラリ”と輝いているのでしょうか。ありがとう、1年生の皆さん。

1年生のコサージュ贈呈の次は2年生の発表です。2年生の手間暇(てまひま)をかけた動画にはビックリ!! 映像には実名入りのキャスト・スタッフのロールが流れたり、スローモーションによる格闘シーンなど、いろいろな効果を駆使(くし)した映像となっていました。また、出演した皆さんの「役者やのう!」と言いたくなるくらい多くの笑いを取ったセリフ・演技にも感心しました。さらには3年生の合唱コンや体育大会での頑張りが、さり気なくセリフの中に入れてあったりと、とても好感がもてるいい作品でした。2年生の皆さん、楽しかったですよ。ありがとう。

各部(部活動)からのメッセージビデオもテンポのよいリズムでつくられ、それぞれの部の雰囲気・味が出ていて、先輩への感謝の思いが、短い映像の中でも伝わってきました。練習の合間を縫(ぬ)って制作に協力してくれた各部の皆さん、ありがとう!

3年生のために、3年生の先生方が用意したプレゼントは「思い出のムービー」でした。その映像は、皆さんが1年生の時にこの学年の教科担当だった先生からのメッセージから始まり、入学当初からの思い出の写真がてんこ盛り。まだまだあどけない表情やその姿に3年間の成長を感じるとともに、



3年生を送る会

「こんなことあったなあ」と懐かしさがこみ上げてきました。3年生たちも大喜び！ 素敵な思い出をありがとうございました。

この間に、1・2年生はグラウンドに移動となりました。そして最後は、3学年がグラウンドに集合です。

3年生は早速1年生からいただいたコサージュを身に着け、整列をしてグラウンドへ。すでにグラウンドに待機していた1・2年生、教職員からの拍手を受け、入場をしました。その後、1・2年生を前にして合唱隊形となり、まずは3年生代表から後輩たちへのお礼のメッセージ。そして歌。歌ったのは合唱曲「友 ～旅立ちの時～」でした。3年生の歌声はグラウンドに響き、3年間の集大成を思わせる、力強く心が一つに繋(つな)がった素晴らしい合唱でした。

[歌詞]

友 今君が見上げる空は どんな色に見えていますか？
友 僕たちに出来ることは 限りあるかも知れないけれど

確かな答えなんて何一つ無い旅さ 心揺れて迷う時も
ためらう気持ちそれでも 支えてくれる声が
気付けば いつもそばに

友 進むべき道の先に どんなことが待っていても
友 この歌を思い出して 僕らを繋ぐこの歌を

明日の行方なんて誰にも分からないさ 風に揺れる花のように
確かめ合えたあの日の 約束胸に信じて
未来へ 歩いてゆくよ

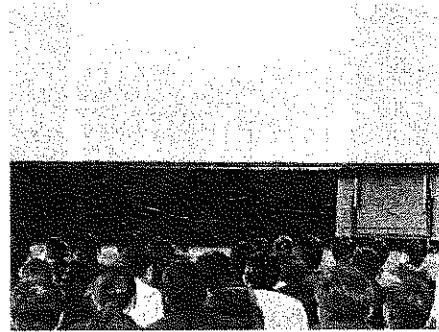
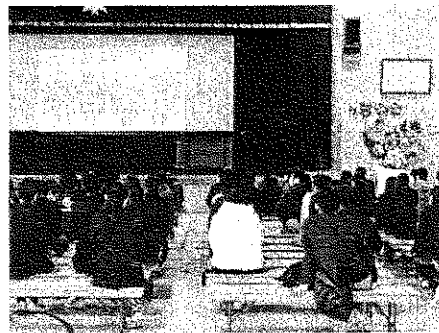
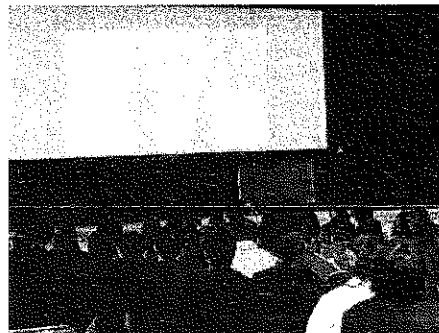
Wow 遠く 遠く
Wow 終わらない夢
Wow 強く 強く
Wow 新たな日々へと旅立つ時

友 さようならそしてありがとう 再び会えるその時まで
友 僕たちが見上げる空は どこまでも続き 輝いている
同じ空の下 どこかで僕たちは いつも繋がっている

これは「友 ～旅立ちの時～」の歌詞ですが、その歌詞を読んでみると、皆さんの3年間の学校生活に重なるものがあるのかもしれないですね。

共に過ごした3年間。喜びを分かち合い、時には悩み、辛さを感じたこともあった中学校生活。そんなときにまわりで支えてくれる声が、気付けば友がいた…。

進むべき道にどんなことが待っていても、ぼくらを繋(つな)ぐこの歌を思い出して…。同じ空の下、どこかで僕たちは繋がっている…。



3年生を送る会

歌い終え、最後に、改めて3年生からの感謝の言葉。そして、中央委員代表からのお礼と閉会の挨拶(あいさつ)で、1時間半ほどの送る会は成功裏(せいこうり)に終わりました。3年生にとっても思い出に残るものとなったのではないのでしょうか。

コロナ禍の中で、例年のように皆が体育館に集まって実施というわけにはいかず、それでも少しでも皆の心の距離が近くなればと工夫をし、映像や密を少しでも回避できるグラウンドを使うなど、学年間の距離を感じさせない送る会に仕上げてくれました。各先生方や中央委員の皆さんの尽力と各学年、各部活動の生徒たちの協力のお陰だと感謝しています。大きな感動、本当にありがとうございました。

さて、3年生はいよいよ卒業式を残すのみとなりました。まずは、晴れやかに、胸を張り、堂々とこの上京中学校を巣立ってください。1・2年生も残りわずかな学校生活ですが、充実したものに仕上がってください。

3月が終わり、新しい学年を迎えるにあたって、皆さんはもう一度この1年を振り返り、次に良いスタートが切れるよう、しっかりと準備をしておいてください。新しい1年が皆さんにとってどんな1年になるのかとても楽しみです。

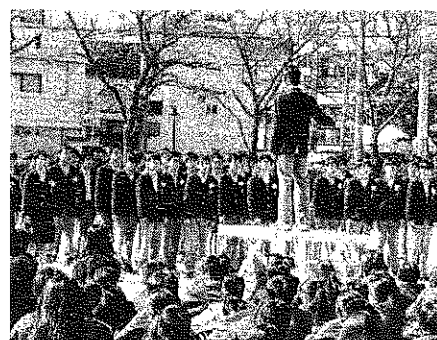
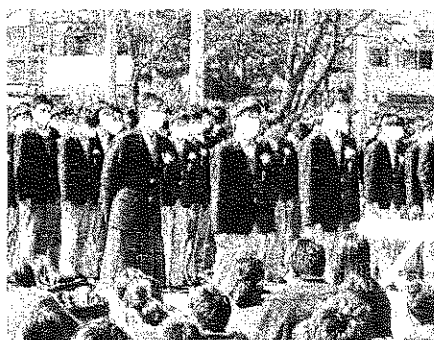
もちろん、この1年を一歩一歩進むのは皆さん自身です。進む先には幾度となく分かれ道が現(あら)われ、皆さんは迷いながらもいずれかの道を選ぶことになります。ただ、大切なことは「どの道を選ぶかより、自分の選んだ道をどう生きるか」だと思います。信じた道を一生懸命歩み、1年後に

「成長したな」と自分で納得できる次の1年にしてください。

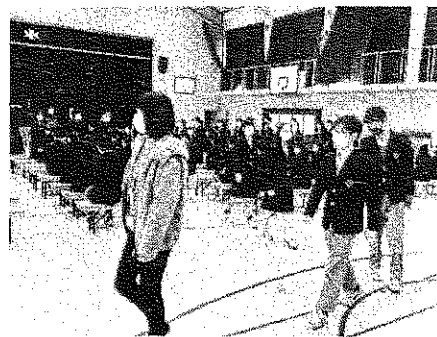
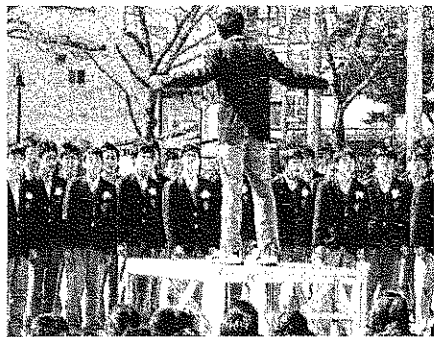
【保護者の皆様へ】

コロナ禍の中、不安やご心配をお持ちの中も、何かとご協力をいただき、感謝をしています。今振り返れば、あっという間の1年間でしたが、いよいよ3月15日(月)には、3年生が義務教育9年間を終え、上京中学校を巣立っていきます。これまでお子たちの成長を見守り、本校の教育にご理解とご支援をいただきました保護者の皆様に、心より感謝とお礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

なお、前回「学校だより3月号」にも掲載しましたが、教職員の異動に関するお知らせは、3月24日(水)正午以降に、校内掲示とホームページへの掲載によりご連絡いたします。(状況により、掲載が遅れる場合もありますので、あらかじめご了承ください。) 離任式は3月30日(火)の午前11時15分より本校グラウンドにて行います。春休みは3月20日～4月5日までの17日間で、新年度のスタート(2・3年クラス発表・着任式・始業式)は4月6日(火)です。そして、1年クラス発表と入学式は4月7日(水)午前10時開式の予定となっています。急な変更等があった場合は、PTAメール配信やホームページにてお知らせします。ご確認ください。よろしくお願いします。

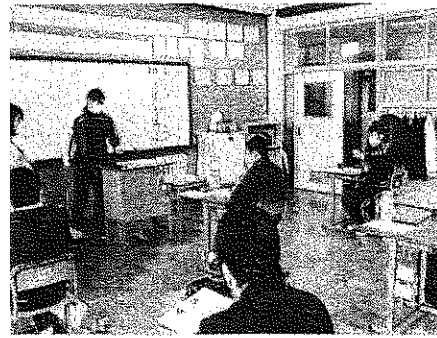
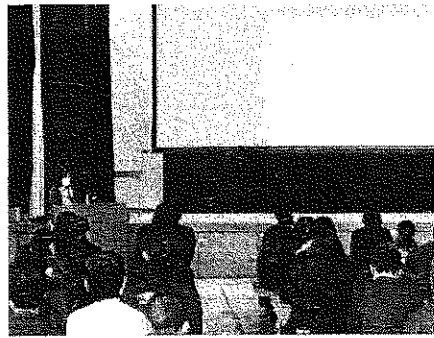
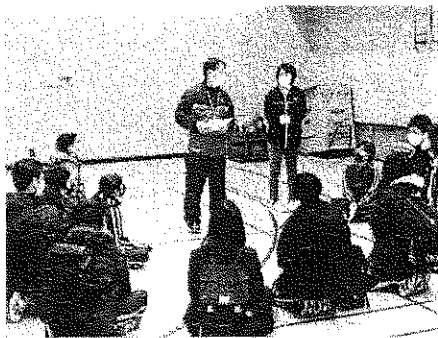


3年生を送る会



3年生を送る会

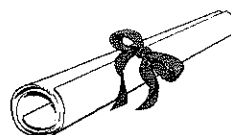
3年生 式練習

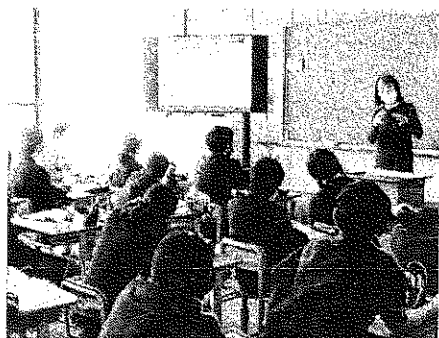


3年生 公立中期事前指導

3年生 性教育学活

1組 性教育学活





2年生 金融教室



3年生 薬物乱用防止教室



1年生 GIGA端末にトライ

◆東日本大震災から10年を迎え…

【朝の放送（学校長より）】

おはようございます。昨日は、本当に心温まる「3年生を送る会」を開いていただき、ありがとうございました。改めて、上中学生の力（パワー）を強く感じ、頼もしくもあり、嬉しい限りです。

さて、今日3月11日で、東日本大震災が発生してからちょうど10年が経ちました。

1万6千人近くの多くの人々が命を失い、10年という時が流れたにも関わらず、未だ(いまだ)に行方不明者が2500人余り、現在も避難生活を送らなければならない方は、被害が大きかった岩手・宮城・福島3県及び県外を合わせると、実に約4万8千人ほどにも及ぶと言われており、今なお故郷(ふるさと)に戻れないなど、震災による被害に苦しんでいる人たちがたくさんおられるのが現状です。

私たちはその現実をしっかりと受け止め、少なくともこの震災の教訓とも言える「災害への備え」、「命を守る行動」、「災害には想定外もあり得る」といったことを心に留め、忘れないようにしなければなりません。

そして今一度、災害が起こったときにどのような行動をとればよいのか、何を準備しておかなければならないのか、被害を最小限に抑えるために、どうしなければならないのかといったことを、お家の人たちとも話をして、確認をする機会にしてほしいと思います。

最後になりましたが、被災された方々や、今なお震災の被害に苦しんでおられる人たちに、心からお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた皆様のご冥福をお祈りし、黙祷(もくとう)を捧(さ)げたいと思います。

以上で、東日本大震災から10年目を迎え、私からのお話を終わります。各先生方、この後のご指導、ご指示をよろしくお願いいたします。

桜の花芽（つぼみ）

